

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイワレジデンス茨木	階数	地上10F
建設地	大阪府茨木市若草町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年4月16日
敷地面積	703㎡	作成者	株式会社浅沼組
建築面積	299㎡	確認日	2018年4月17日
延床面積	2,044㎡	確認者	株式会社浅沼組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能への配慮を行う。 ・敷地内及び、敷地外環境への配慮も怠っていない。 ・エネルギー、資源、マテリアルの確保に努めている。 	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・T-3等、遮音性能への配慮を行う。 ・高い昼光率、昼光制御を確保している。 ・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。 ・高い換気性能を確保している。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・防汚性の高い建材を採用し、建物の維持管理に配慮している。 ・防振性への配慮を行う。 ・外壁、給排水管等、耐用年数の長い部品、部材を採用している。 ・階高を確保し、空間のゆとりで配慮している。
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地を設置している。 ・景観条例を満たしている。 	<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明等の、高効率設備機器を採用している。
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル材を活用している。 ・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ性能を高め、LCCO₂排出率を削減する事で、地球温暖化防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0008

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	ダイワレジデンス茨木					
	建設地	大阪府茨木市若草町368-1					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	LED照明	LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている。
特に配慮した事項		